

2022 2 3

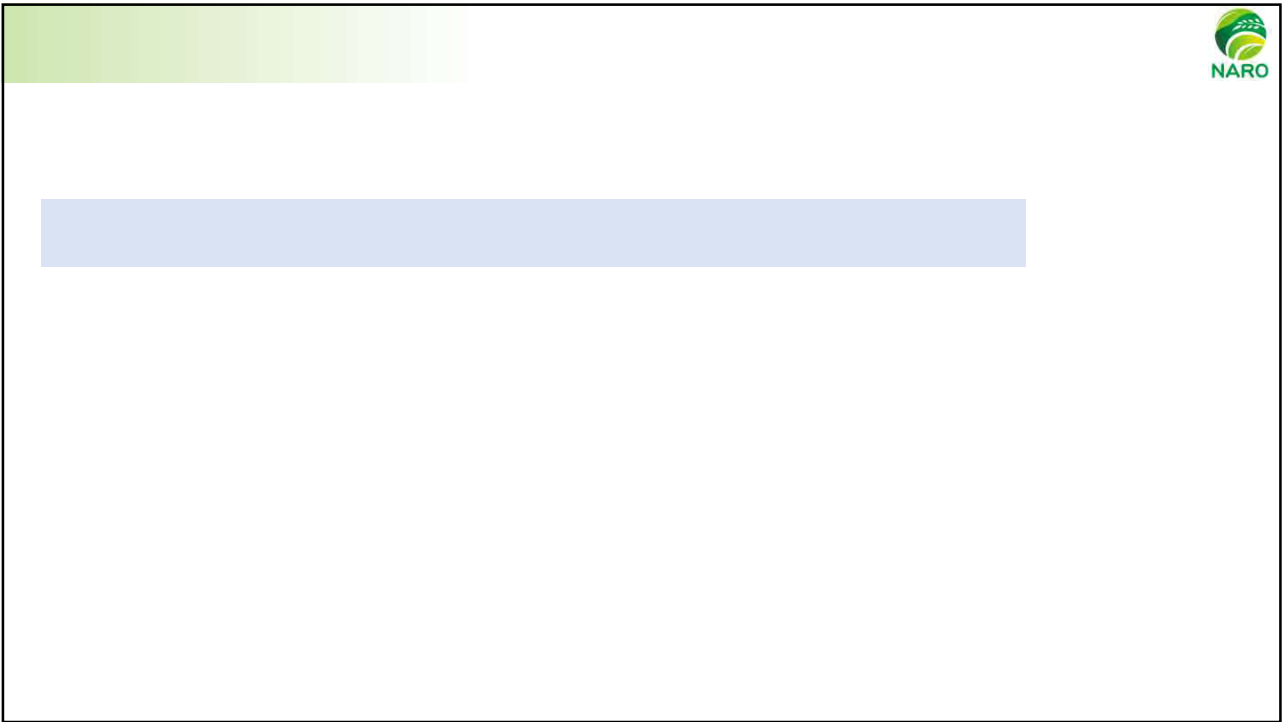


NARO

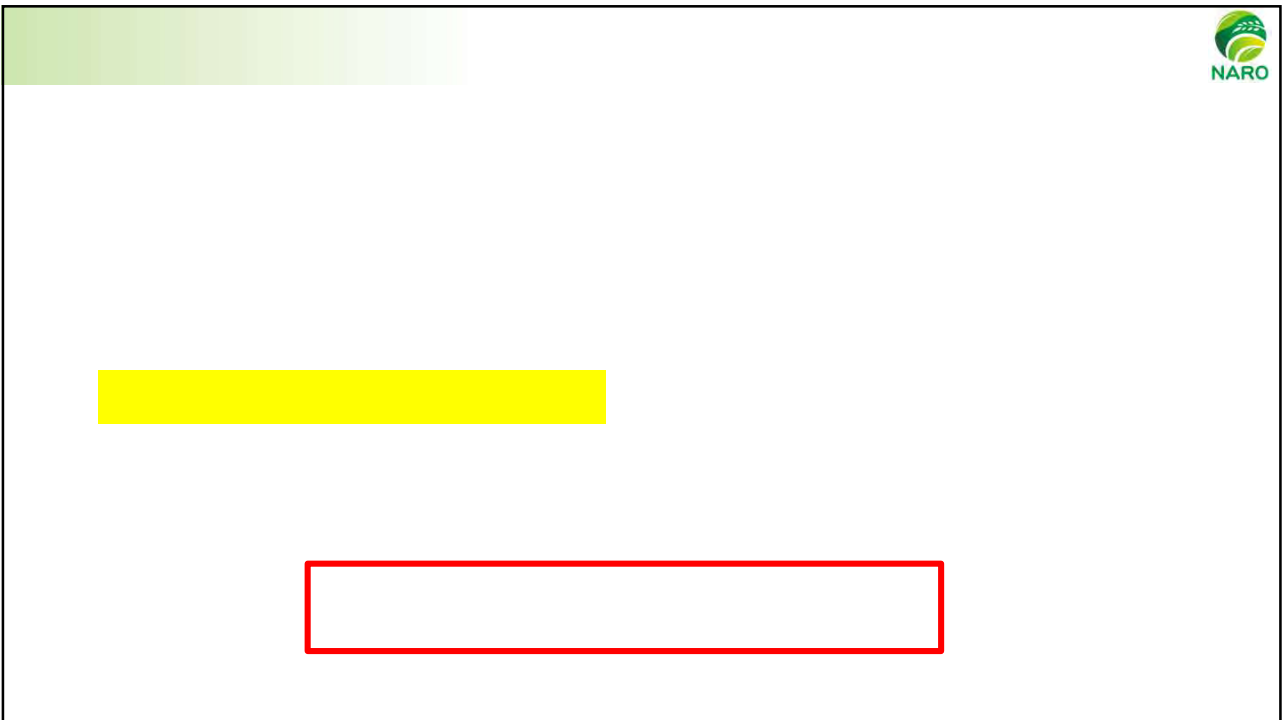
0



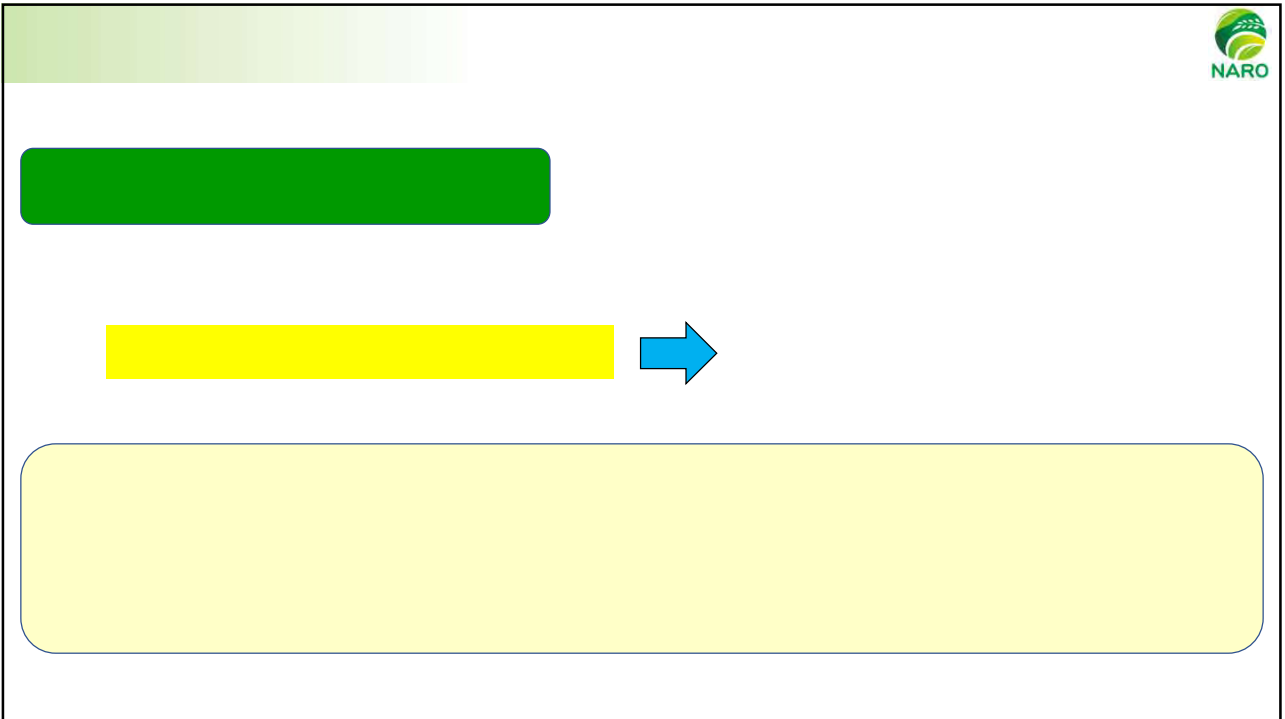
1



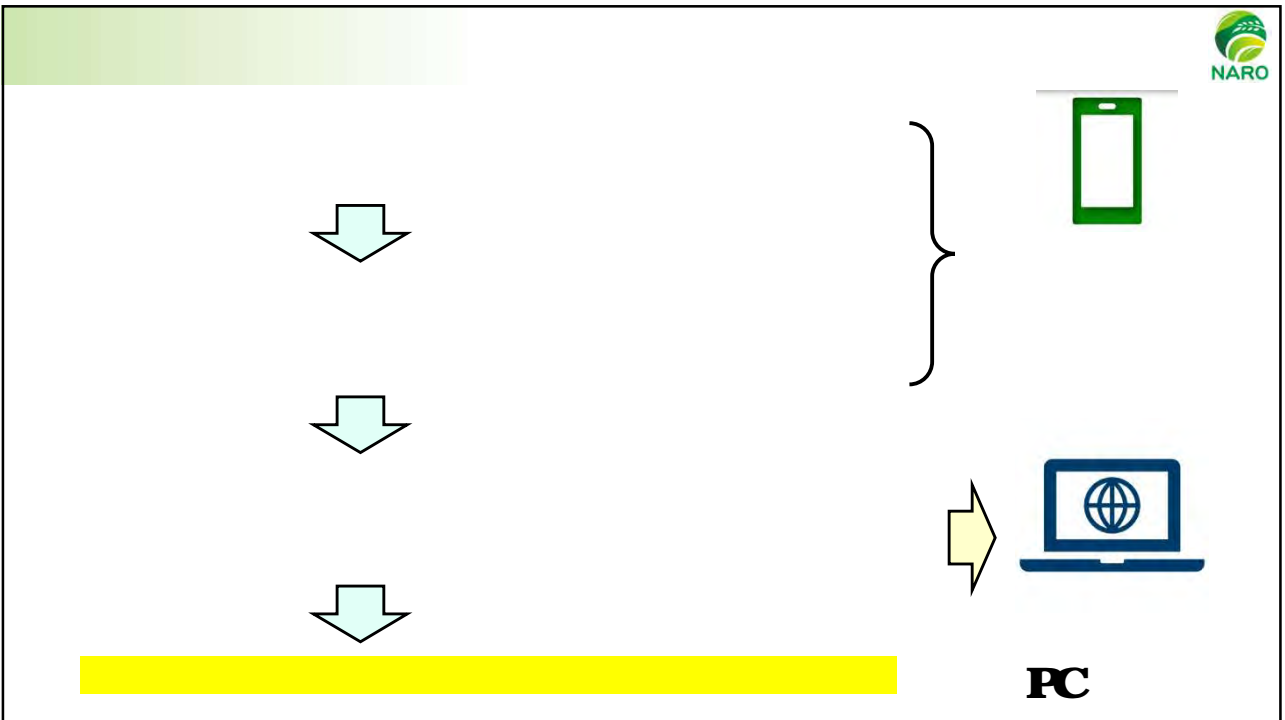
2



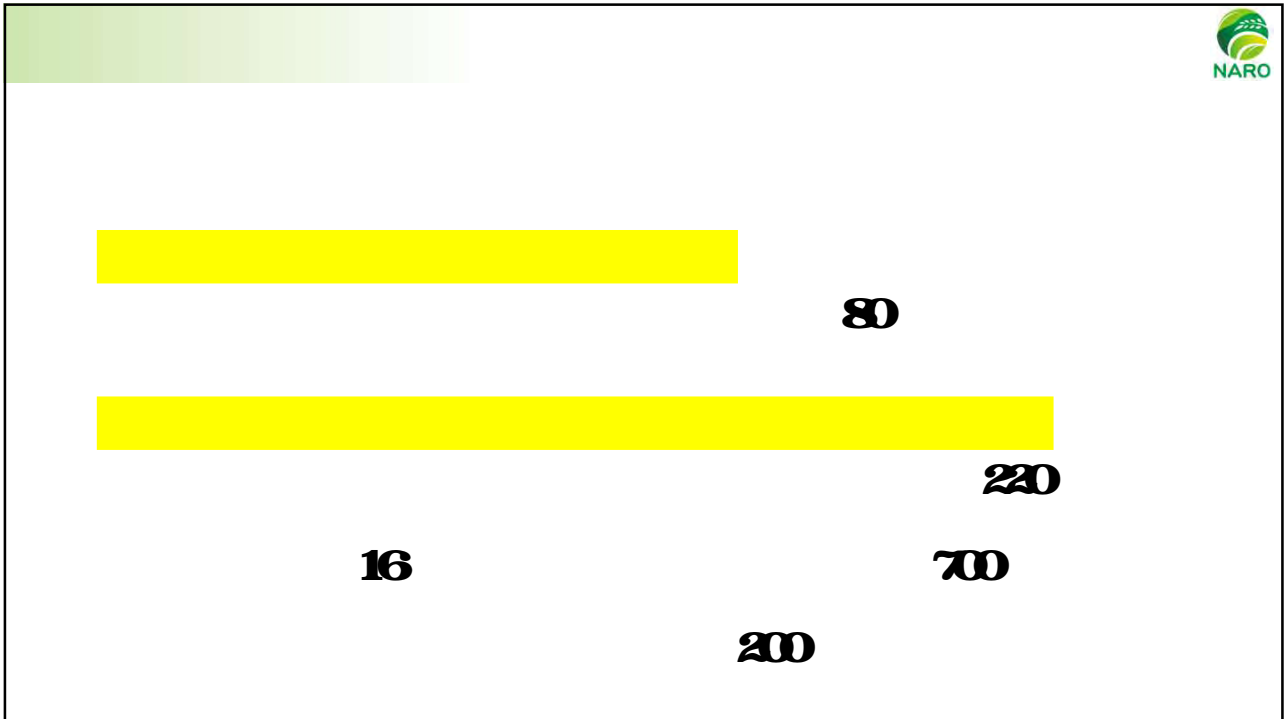
3



4



5



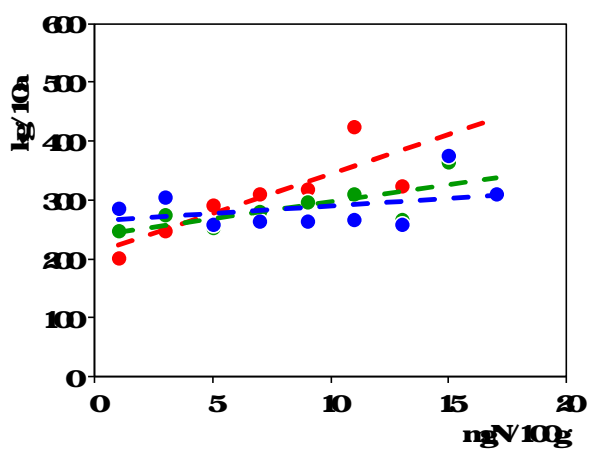
6



7



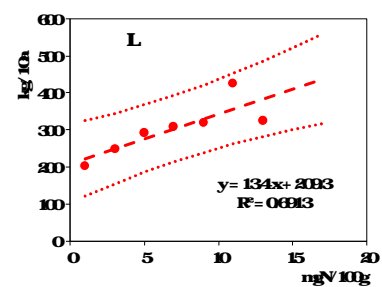
8



**L**  
 $y = 134x + 2093$   
 $r^2 = 0.691^*$

**CL**  
 $y = 58x + 2407$   
 $r^2 = 0.557^*$

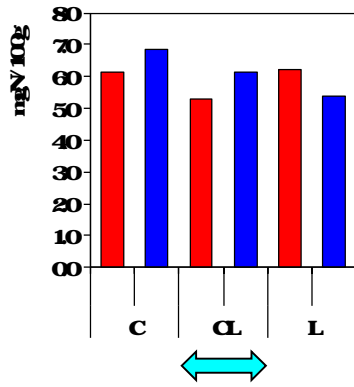
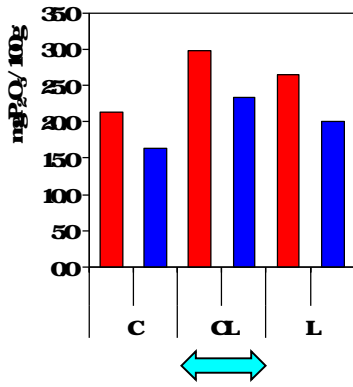
**C**  
 $y = 26x + 2610$   
 $r^2 = 0.145ns$



**L 15% CL 15% C 25%**



9



C  
CL  
L

25%  
15 25%  
15%



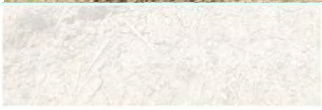
10

11

# 24Deg



## スマホで診断!



### 6つの項目のリスクを診断



# スマホからサイトに接続



## 診断に基づく大豆栽培改善技術導入支援マニュアル

### 簡易診断版

これは、大豆栽培の阻害要因となる

1. 渇害・排水不良
2. 干ばつ害
3. 肥沃度不足
4. 黒根腐病
5. 子実食虫害
6. 雑草害

の6項目のリスクを大まかに診断するためのものです。下記の18項目のアンケートにお答え下さい。

診断をスキップして項目別の目次へ

(1/18) あなたの大豆栽培地域を教えてください(任意)

- 北海道地域
- 東北・北陸地域
- 関東・甲信地域
- 東海以西の地域

(2/18) 作土の土性を教えてください(任意)

- 埴土 (粘土含量25%以上)
- 埴壤土 (粘土含量15%~25%)
- 壤土 (粘土含量15%未満)
- 分からない

(16/18) 中耕培土は何回実施しますか？

- 1回
- 2回
- 3回以上
- しない

(17/18) 播種後土壌処理除草剤を散布しますか？

- はい
- いいえ

(18/18) 雑草発生量が多いと思ったら次の様な対策を行いますか？ (複数選択可)

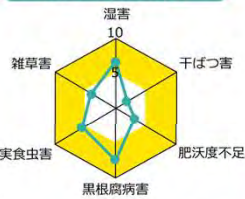
- 播種前除草剤
- 生育期全面茎葉処理除草剤
- 生育期畦間または時間・株間処理除草剤
- 手取り除草

**診断!**

# 診断結果を元に対策を検討



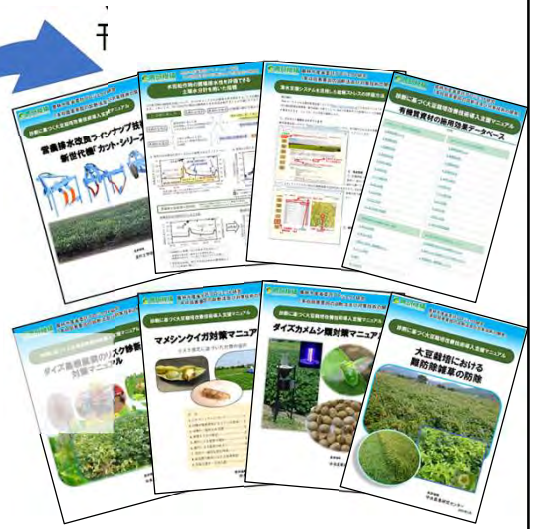
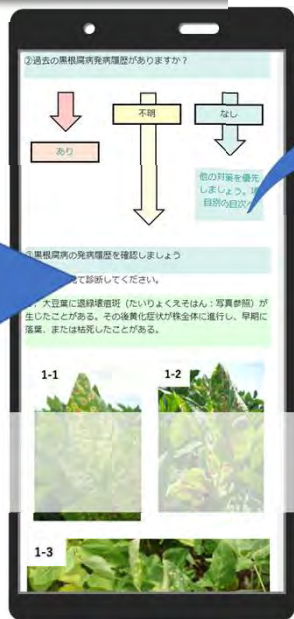
## 簡易診断の結果



数値が大きいか外側の項目ほどリスクが高くなっています。リスクが高い項目を優先的に診断しましょう！

回答に戻る

- 排水不良
- 干
- 肥沃度不足
- 黒根腐病
- 子実食虫害
- 雑草害







2019  
HP



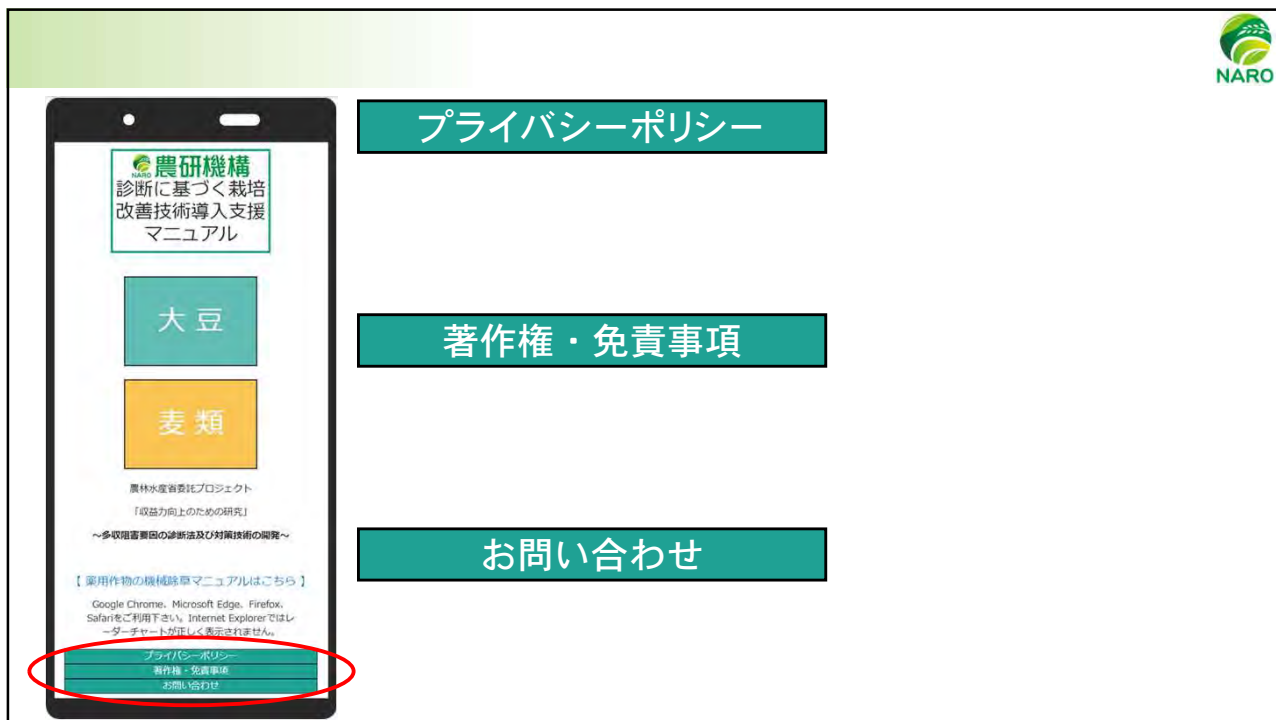
OS  
E

Microsoft Edge 2020 6  
Chrome  
Google  
Opera

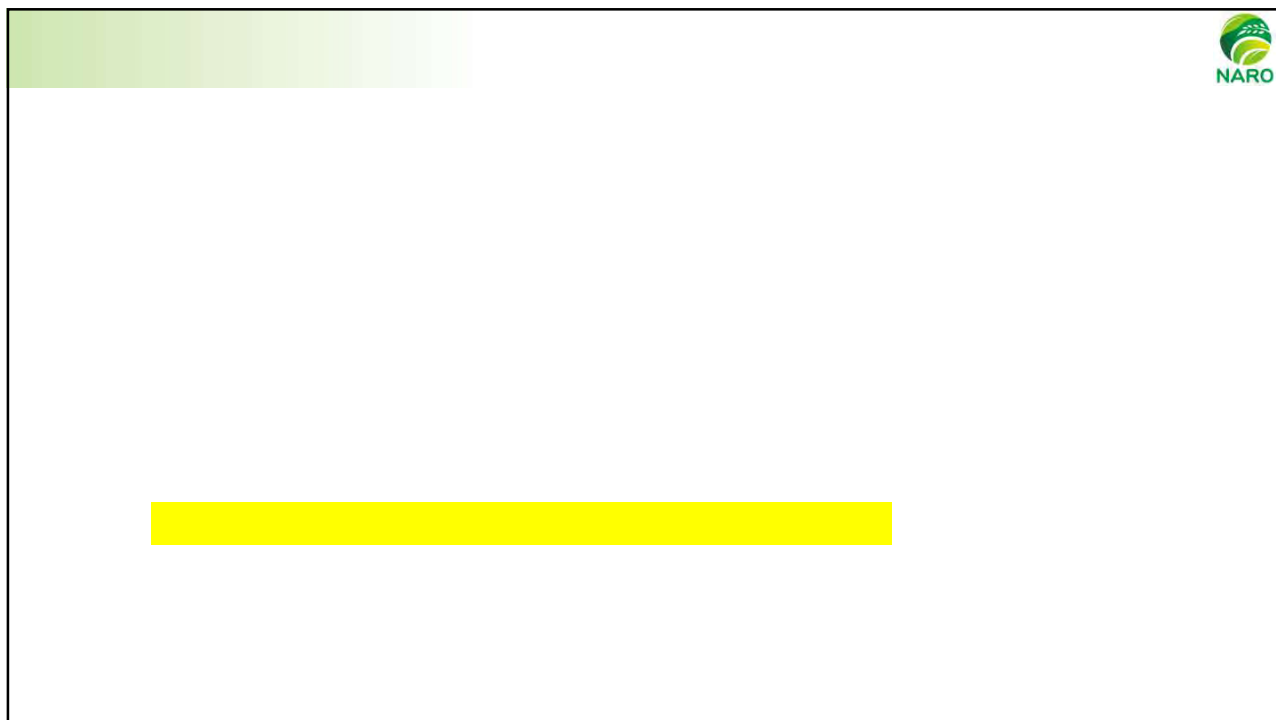
Google



Microsoft®



18

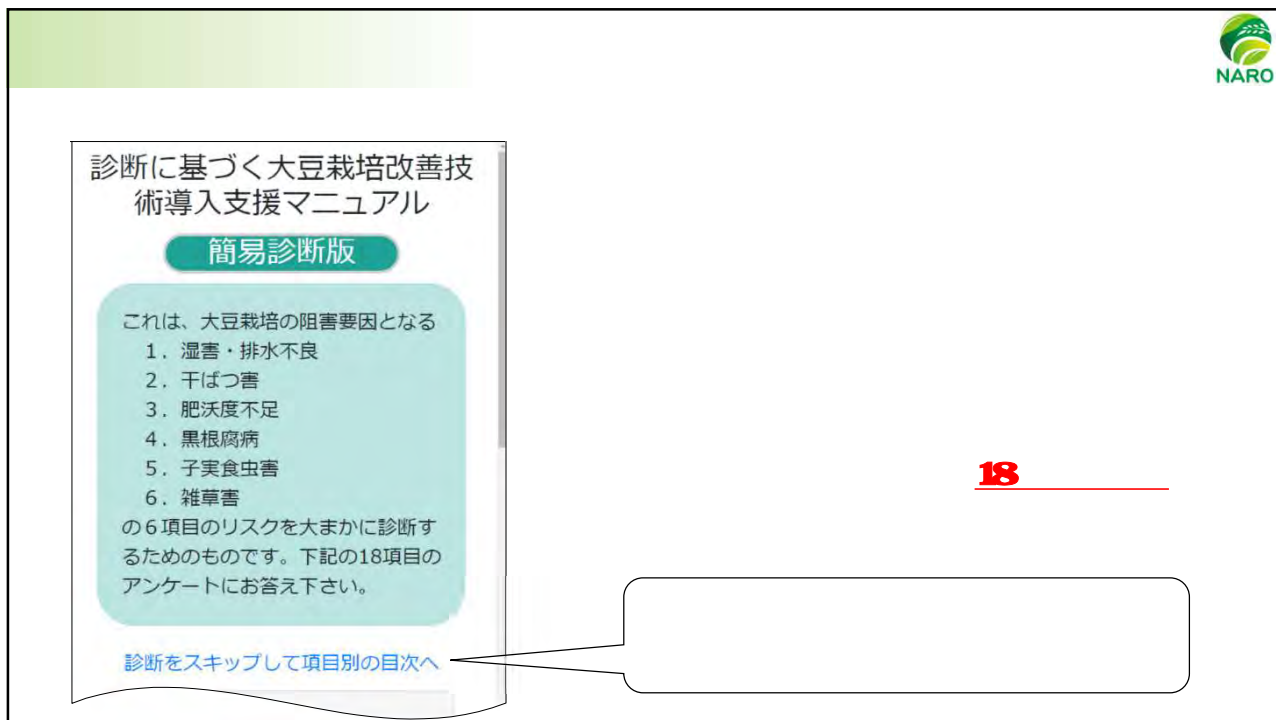


19



PC

20



18

21

診断をスキップして項目別の目次へ

(1/18) あなたの大豆栽培地域を教えてください(任意)

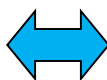
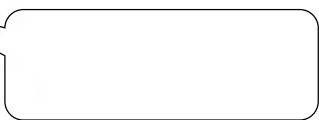
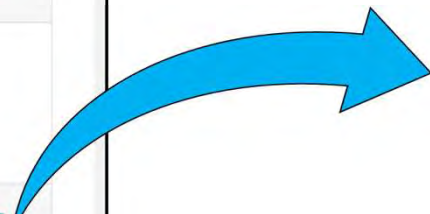
- 北海道地域
- 東北・北陸地域
- 関東・甲信地域
- 東海以西の地域

(2/18) 作土の土性を教えてください(任意)

- 埴土 (粘土含量25%以上)
- 埴壤土 (粘土含量15%~25%)
- 壤土 (粘土含量15%未満)
- 分からない

(2/18) 作土の土性を教えてください(任意)

土性は正確である方が良いですが、まずは「やってみよう」という気持ちで判断してみましょう。「この土は粘って耕うんが大変だなあ」と思えば埴土を、「ざらざらして砂が多くて乾きやすい」と思えば壤土を、選択してみてください。もちろん、分からない場合は、「分からない」を選択しても良いです。回答の選択を変えて確認してみるのも方法の一つです。



e



[https://www.naro.affrc.go.jp/org/narc/crop\\_diagnosis/](https://www.naro.affrc.go.jp/org/narc/crop_diagnosis/)

2020年3月30日から公開中

